

浅草公会堂 ホール利用のガイドライン

第7版 2022年10月1日

浅草公会堂 管理事務所

【はじめに】

※公益社団法人全国公立文化施設協会ガイドラインより

新型コロナウイルス感染症は、その発生から既に2年半が経過し、医療的な知見の蓄積やワクチン接種の複数回の進展により、一定程度の重症化抑止が図られて来ています。また、社会、経済活動の再開も求められることなどから、国では更なる行動制限の発出には慎重な対応が取られています。一方で、感染力の強いオミクロン株 BA.5 等による第7波の感染拡大もあり、引き続き感染防止策の継続が求められています。全国の劇場・音楽堂等公立文化施設は、基本的な感染防止策を継続した上で、社会・経済活動と感染防止を両立させた新しい生活様式・スマートライフと共存し、地域の文化拠点としての役割を果たしていく必要があります。

.....

浅草公会堂のホールをご利用になる主催者様には、スタッフや出演者、そして催し物を楽しみに来館されるお客様方の感染を防ぎ健康を守るために、引き続きガイドラインの遵守をお願いします。このガイドラインは「公益社団法人全国公立文化施設協会」および「一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク」が発表した各ガイドライン、ならびに台東区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿って、ホールを利用される際にご注意頂くこと、そして前もってご準備頂きたいことなどをまとめています。主催者様にはこれらの内容にご同意頂き、ホール管理者と十分な打合せを行った上で催し物開催当日に臨んで頂ければと存じます。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

【基本的な感染対策の徹底を引き続きお願い致します】

- 1, 密集・密閉・密接のいずれの発生も避けるように努める
- 2, 正しいマスクの着用（舞台上の出演者以外のマスク着用の徹底）
- 3, 換気、手指消毒の実施

【 定 員 】

客 席

発声を伴うアクティグエリアから観客の最前列まで、水平方向で2メートル確保して下さい。

客席の収容率は来場者による「大声」での歓声、声援、唱和等の有無により定員が変わります。

※「大声」の定義…「観客等が、(ア) 通常よりも大きな声量で、(イ) 反復・継続的に声を発すること」を「大声」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」に該当するものとする。(東京都防災ホームページより)

(1) 「大声での歓声、声援、唱和なし」の場合…定員 100%での収容が可能

1,074名 ※うち4席(1階席)は車椅子スペース(設置座席数は1,070席)

1階席 549名(座席設置数は545席) / 2階席 336名 / 3階席 189名

※花道を使用する場合

998名 ※うち4席(1階席)は車椅子スペース(設置座席数は994席)

1階席 473名(座席設置数は469席) / 2階席 336名 / 3階席 189名

(2) 「大声での歓声、声援、唱和あり」の場合…1席ずつ空け、定員の50%までとしてください

539名 ※うち4席は車椅子スペース(座席設置数は497席)

1階席 276名(座席設置数は272席) / 2階席 168名 / 3階席 95名

※花道を使用する場合

501名 ※うち4席(1階席)は車椅子スペース(座席設置数は497席)

1階席 238名(座席設置数は234席) / 2階席 168名 / 3階席 95名

※花道を使用する際

花道のアクティグエリアを「花道センターライン」とします。花道から舞台に向かって右側の客席(15番以降)については、通路を挟むため客席を潰すことなく2メートル取ることができます。花道から舞台に向かって左側の客席(9番までの席)については、8・9番の座席を潰し、距離を取ることが推奨致します。

舞台上・舞台袖

舞台上 … 72名 / 舞台袖 各12名

楽屋

第1楽屋	21名	第2楽屋	33名	第3楽屋	13名
出演者控室	35名	個室楽屋A	3名	個室楽屋B	3名
リハーサル室	25名				

出演者が入れ替わって楽屋を使用する場合も、定員超にならないように使用時間の設定をしてください。

【 浅草公会堂の役割 】

(1) 外部からの入場口に消毒液の設置

- ・ エントランス入口 3 カ所／楽屋口／駐車場エレベーターホール

※上記以外に消毒液は設置されていません。

客席、ロビー、楽屋の設置は主催者様にて適宜ご用意ください。

(2) 館内の消毒

- ・ ホールのドアノブ、手すり、客席肘掛け等共有接触部分の消毒
- ・ ロビーのソファ、テーブルの消毒
- ・ 楽屋内イス、テーブル、座布団等備品の消毒
- ・ 舞台上で使用する備品の消毒
- ・ エントランスドア、階段手すり、トイレ、エレベーターボタン等の消毒

※ご利用時間中の公会堂清掃員による消毒作業は基本ありません。トイレのみ巡回清掃を致します。

(3) ホール、ロビーの換気

- ・ ホール内、ロビーは通常よりも外気を多く取り入れた換気を随時行います。ただし室温に応じて換気量は変動します。
- ・ ホール内は約 13 分で空気が入れ替わっています。また定期的にエントランスの扉を開放し換気を行っています。
- ・ 状況に応じて、客席の扉を開けて、換気を実施して下さい。

(4) 職員の感染防止策

- ・ 毎日検温し、体調不良の者は自宅待機とします。
- ・ マスクを着用し手指の消毒、うがい等を徹底します。

【 主催者の役割 】

◆感染予防対策の周知徹底

来館される全ての方に向け、感染対策への協力を事前に呼びかけてください。

◆浅草公会堂に入館される全ての来場者（観客）、出演者、スタッフの健康状態の確認

主催関係者や出演者、スタッフ、来場者（観客）に向けて、下記【セルフチェック項目】に該当する場合は来館来場を見合わせるよう、ホームページや SNS、また公演チラシ、ポスター等を通じて周知徹底してください。

【セルフチェック項目】

- ①37.5 度以上または平熱+1℃の熱、咳、呼吸困難、咽頭痛、鼻汁、全身倦怠感、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、関節・筋肉痛、下痢、吐き気、嘔吐等の症状がみられ、体調が思わしくない場合

- ②発熱や感冒症状など諸症状が発症してから10日経っていない方、かつ症状軽快後から72時間経過されていない方
- ③新型コロナウイルス感染症陽性で無症状の方のうち、検体採取日から7日経過されていない方
- ④新型コロナウイルス感染症陽性の方と濃厚接触された方で5日経過されていない方
- ⑤厚生労働省の提示している「新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置」に基づく待機期間中の方

浅草公会堂に入館の際は、来場者（観客）、出演者、スタッフ問わず、必ず検温の上、平熱であることを確認してください。検温の実施場所については、主催者様にてご検討ください。

入館後、急な発熱や体調不良などの症状が確認された場合、速やかに管理事務所に
ご連絡ください。当該者を隔離し、濃厚接触者が増えないよう対応をしてください。

発熱受診相談センター
台東区：03-3847-9402（平日9時～17時）
東京都：03-5320-4592（土日祝を含む24時間対応）

◆館内での具体的な対策

館内において、密にならない対策を講じて下さい。必ず人員整理の係員を各所配置してください。
館内でのマスク着用の徹底をお願い致します。
密な状況が見受けられたり、マスク着用が見られない場合には、会場責任者の方にご対応頂くよう
ご連絡を致します。

【各エリアでは下記の点に留意ください】

- ・客席 観客の大声の有無により、使用する座席を決定してください。
出演者と観客の間は2メートルを取るようにしてください。
お客様同士の大声での会話は控えて頂くよう周知してください。
場内の換気を心がけてください。
マスク着用を徹底してください。
客席エリアを使用した演出は控えてください。

- ・楽屋 各楽屋の定員を守ってください。定員はガイドライン2ページ目をご確認ください。
舞台裏 換気を心がけてください。
マスク着用を徹底してください。
必要に応じて消毒液の設置をしてください。
飲食には特に注意を払い黙食など感染対策を行ってください。
不特定多数が利用するケータリングスペースの設置は控えて下さい。

共有物として設置してあった茶器類、スリッパ、ハンガー等は感染予防の観点からすべて撤去しています。

- ・舞台上 舞台上で密にならないよう演出面を考慮してください。
舞台袖が密にならないよう、人の出入り・配置を計画してください。
舞台上の出演者を除き、マスク着用を徹底してください。
出演者と観客が接触するような演出はやめてください。
- ・ロビー 開場時間や休憩時間を長めに設定することで混雑緩和を図ってください。
チケットもぎり簡略化（お客様がもぎり目視で確認、電子チケット）をご検討ください。
対面での接客が生じる場所ではアクリル板等の設置をご検討ください。
入場待機場所の設置と十分な係員の配置をお願いします。
入場者が多い場合は、時間差での入退場をご検討頂き混雑しないようにしてください。
休憩スペースが混雑した場合、分散してのご利用を促してください。
休憩スペース等で、マスクを外した状態で会話をするような状況は回避してください。
お化粧室が混み合わないよう、列の整理や休憩時間の取り方を工夫してください。
- ・物 販 来場者が密集しないよう導線などを工夫してください。
現金の受け渡しにトレイを使用する等、接触を減らす工夫してください。
物販に関わる係員は、マスクの着用と手指の消毒を徹底してください。
ユニフォームや衣服は清潔な物を着用してください。
対面での接客が生じる場所ではアクリル板等の設置をご検討ください。
多数が触れるサンプルや見本品は置かないでください。
大声を発する呼び込みはご遠慮ください。
お持ち帰り用ではない菓子類・軽食等の販売はご遠慮ください。
- ・その他 入り待ち・出待ち、面会はしないよう呼びかけてください。
プレゼントや差し入れは控えるよう呼びかけてください。
オペラグラス等の貸出は極力控え、やむを得ない場合は十分消毒を行ってください。
チラシ、アンケート、サンプリングなど手渡しでの配布は避けてください。

出演者が来場者と接触（面会）したり、感染リスクが高まるような演出（客席降り・ハイタッチ・来場者を舞台上へ上げる・声援の促し・客席での歌唱や唱和・握手会や特典会、お見送り等）は行わないでください。

客席内の飲食飲酒は（感染対策に関係なく従来より）禁止です。ロビーでの飲食も熱中症予防の水分補給等、必要最低限としてください。やむを得ない場合は時間やエリアを定め主催者側で感染症予防の十分な対策を施し、消毒を行ってください。

◆主催関係者・出演者・来場者の連絡先の把握

- ・主催者は関係者や出演者の氏名・緊急連絡先を把握し、名簿作成をお願いします。
- ・来場者に関してはチケットシステムや記入用紙の配布・収集等により、氏名・連絡先の把握に努めてください。
- ・主催者は感染の疑いや感染が発生した場合に備え、保健所等の公的機関が実施する調査に協力できるよう準備をお願いします。また来場者に対してこうした情報が公的機関へ提供される旨を事前に周知させてください。

◆仕込み、リハーサル、撤収時

- ・仕込み、リハーサル、撤収に十分な時間を設定してください。
- ・仕込みやリハーサル時間にお客様エリア（客席・ロビー等）をスタッフの待機場所や食事場所として使用しないでください。スタッフ用の控室（楽屋等）を用意するか、やむを得ない場合はエリアを決めてご利用ください。その場合はお客様入場前に、主催者側で必ず消毒を行ってください。
- ・外部舞台スタッフによる公会堂の備品や舞台機器の操作がある場合は、終演後消毒等にご協力頂きます。消毒方法については、必ず公会堂舞台スタッフの指示に従ってください。
- ・消毒の時間は撤収時間としてホールの利用時間に含まれますので、スケジュールを作成する際にご注意ください。

◆感染対策の実施に関するチェックシートの記入に関して

- ・御利用に際し、当日朝「感染対策チェックリスト」をお渡し致します。
必ずご記入頂き、管理事務所にご提出ください。
コピーをお渡し致しますので、1ヶ月程度保管をお願い致します。

◆公演後に関して

- ・作成した関係者や出演者、来場者の名簿は最低1ヶ月以上の保管をお願いします。
- ・公演参加者（関係者含む）が施設利用後2週間以内に新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合、速やかに浅草公会堂管理事務所までご連絡ください。
- ・保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要に応じて情報提供をしてください。

本ガイドラインは新型コロナウイルスの感染状況における動向を踏まえ、必要に応じて対処方針の変更や適宜改定を行うものとします。

20200619（第1版）／20200710（第2版）／20200807（第3版）／20201201（第4版）／20211209（第5版）
20220401（第6版）／20221001（第7版）